



11月1日は古典の日

2025(令和7)年11月 日

世界に誇る古典文学である「源氏物語」の存在が、記録上確認できるもっとも古い日付が1008(寛弘5)年11月1日であることから、2008年11月1日、この日を「古典の日」と制定されました。これを機に、古典に親しんでみてはどうでしょうか。

歌舞伎にふれることは、江戸時代の日本人が考えていたこと、感じていたことにふれること。



はじめての歌舞伎

(漆澤その子、すばる舎)

〈内容紹介〉「歌舞伎」の字は「歌」(踊り)、「舞」(演技)という字でできています。歌って踊って演技をする、今の歌番組やドラマと同じ。ワクワクが詰まった「おもちゃ箱」のような歌舞伎の世界へ、ようこそ!



はじめての和の音楽

(上野哲生、すばる舎)

〈内容紹介〉琵琶や琴、尺八、三味線、和太鼓……日本の伝統音楽は、現代の音楽とは使う楽器が異なり、メロディも少し違います。でも、それが不思議と私たちの心にひびき、今は世界でも大注目の音楽。実際の音源を聞きながら、個性豊かな「和の音楽」の魅力をつぶり味わってください!



三毛猫ホームズの文楽夜噺

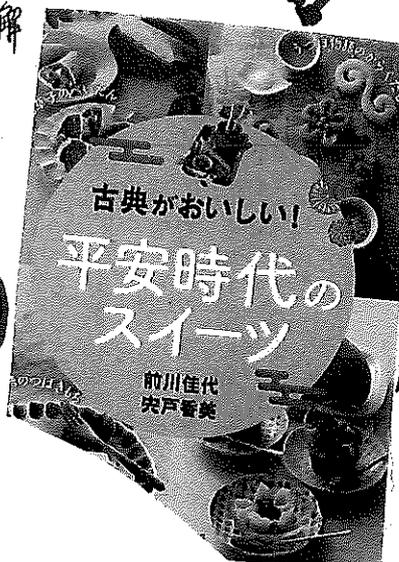
(赤川次郎、角川書店)

〈内容紹介〉江戸時代から続く伝統芸能、文楽。難解だと思われがちだが、実は、人間の本性を描いた、現代に通じるエンタテインメントである。深く鋭く描かれる人間ドラマ。それが文楽だ。

平安時代のスイーツ

(前川佳代、かもめ出版)

〈内容紹介〉千年前の食べ物っておいしいの? 甘いものってあった? スナック菓子もあった? お菓子は手で食べていた、などなど、平安時代のお菓子をこの本で味わってみてはどうですか。



新着本で〜す!

思いこみを
捨てて、
もっと
自由に
生きよう!



「女の子だから」のない世界へ (合同出版)

(「あとがき」より)。「女の子だから」「男の子だから」— 観るほど私たちは、この言葉を浴びせられてきました。この本は、あなたたち一人ひとりのモヤモヤ、怒りを言葉で表したものです。「怒っていいだよ」「嫌だと言っていいいだよ」この本を、世界中の強くて賢くて勇気がある、すべての女の子たちへ捧げます。

ラスト・チェリー・ブロッサム

(キャサリン・パーキンソン ぼるぶ出版)

(「作者あとがき」より) 八月六日に原爆が投下されたあと、広島の中には七十五年間、草木は生えないだろうと当時の科学者たちはいいました。しかし、翌年の春、桜の花が咲きました。母をはじめ、被爆者のみなさんの心のように、桜も耐えていたのです。

日系アメリカ人著者が、母の被爆体験をもとに描いた物語。

アメリカで
書かれ
アメリカで
読まれた、
ヒロシマの
物語。



65人のこどものはなし (光村図書)

(内容説明) あの時、言葉にできなかった気持ち。「こどもの自分」に会いに行く。エッセイ・アンソロジー。大切な日々が帰れる、きらめく言葉が詰まっています。

本の中を少し紹介します

「こども」と「大人」の違いについて書いてもらいました。

(新沢としひこ・小説家) → 夢の追いかけ方を探るのが子ども。夢のおきりめ

方を探るのが大人。ひとつの答えを求めていくのが子ども。答えがひとつではないことを知っているのが大人。

子どもの頃って、頭の中は結構「大人」。大人になっても、心の中は結構「子ども」。

5分後にエモい古典文学 (野月よから、スターツ出版)

本の中をちょっと、紹介しま〜す。 → 万葉集…

《古文》 朝ごとに 我が見るやどの なでしこが 花にも君は ありせぬかも (1616)

《超新訳》 バランタで花が咲いたんだ。この花があなただったらいいのにな。もしたら、

毎日一緒にいられるでしょ?

文法とか難しいことを、いったんぽーんと置いてみて、まずは「楽しんでもらいたい」という一念で書きました。

(著者 野月よから)

